

「授業アンケート」の結果について

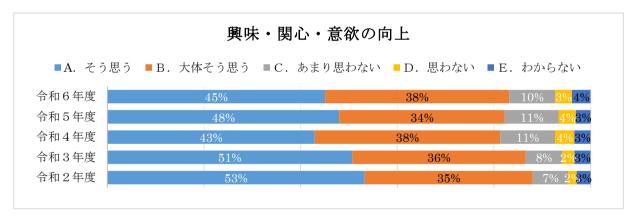
2学期の「授業アンケート」へのご協力をいただきありがとうございました。集計結果につきまして、肯定的な回答の内8割を超えたものは、「(I)興味・関心・意欲の向上」、「(2)学習内容の習得」「(5)児童への適切な評価」の3項目となりました。

「(3)個に応じた支援」、「(4)望ましい学習集団の育成」の両項目の肯定的な回答は8割に到達しませんでした。

今年度は、これまでも「協働的な学び」を授業づくりの土台として、『授業づくり』と、『学級集団づくり』に力を入れてきました。しかしながら「(4)望ましい学習集団の育成」としては引き続き改善が必要との結果となっています。

「望ましい学習集団」とは何かを全教職員で共通理解するとともに、「個に応じた支援」にも引き続き力を注ぎ、子どもたち一人ひとりの実態を把握するとともに、今問われている「個別最適な学び」を実現するために、子ども達どうしをどう繋ぐかを試行錯誤し「望ましい学習集団」となることを念頭に、学級・学年・学校全体の指導のあり方について研究を進めて参ります。今年度の教科研究の副題は「協働的な学び」でした。この協働的な学びには、今年度の生活指導のテーマでもある「自分で気づいて考えて行動できる児童」が土台となるはずです。引き続き、子ども達に寄り添いながら次年度に向けて改善して参ります。以下に結果をお示しします。

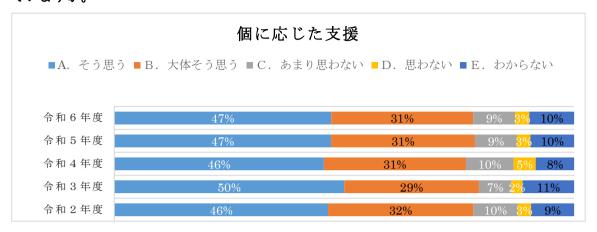
(1) お子様は授業を受けて、その内容に興味・関心や意欲を持つようになっていますか。



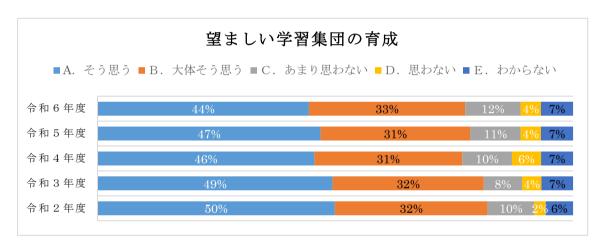
(2) お子様は授業の内容がわかるようになっていますか。



(3) お子様は、授業でわからないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらえていますか。



(4) お子様は、授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか。



(5) お子様は授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか。

